



**平成29年(2017年)3月期第2四半期
決算説明会 資料**

平成28年(2016年)11月30日

KNT-CTホールディングス株式会社

目 次

経営統合 概要	P2
事業構造図	P3
KNT-CTホールディングス連結範囲	P4
平成29年(2017年)3月期第2四半期業績および セグメント別売上高	P5
平成29年(2017年)3月期第2四半期貸借対照表	P6
平成29年(2017年)3月期第2四半期キャッシュフローの状況	P7
平成29年(2017年)3月期通期業績予想	P8
営業シナジー	P9
注力事業：訪日旅行事業について	P10
主要3事業会社 トピックス	P11~13

平成25年(2013年)1月1日 持株会社体制 “KNT-CTホールディングス株式会社”に移行

当社は平成25年(2013年)1月1日、持株会社体制に移行し、グループ各社の「自立経営」と「連携強化」を促進するとともに

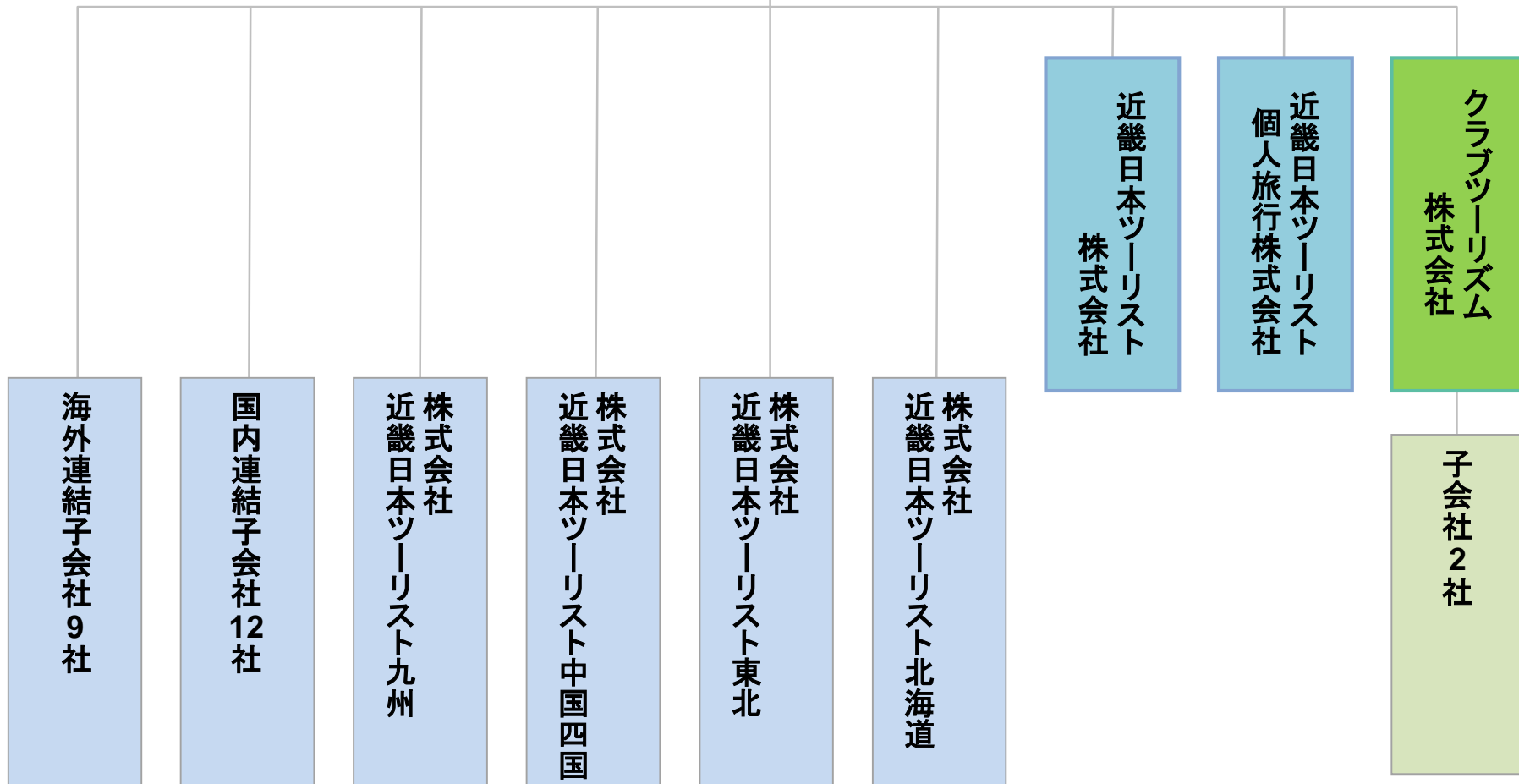
“近畿日本ツーリスト” “クラブツーリズム”

の長所を活かした「シナジー効果」の最大化を推進。



事業構造図

KNT-CTホールディングス株式会社



KNT-CTホールディングス連結範囲

【連結子会社 30社】

国内旅行会社(13社)	近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリスト個人旅行、クラブツーリズム、 近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト神奈川、 近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリスト沖縄、 ユナイテッドツアーズ、ティー・ゲート、 昭和トラベラーズクラブ、三喜トラベルサービス	
海外旅行会社(7社)	KIE(USA)、KIE(CANADA)、KIE(Oceania)、近畿国際旅行社(中国)有限公司、台湾近畿国際旅行社 他	
その他 関連事業会社(10社)	労働者派遣業務	ツーリストエキスパート
	商事・保険	近畿日本ツーリスト商事
	業務受託、他	ツーリストサービス北海道、KNTビジネスクリエイト
	アシスタント業務	ツーリストインターナショナルアシスタンスサービス
	イベント&コンベンション企画	イベントアンドコンベンションハウス
	介護事業	クラブツーリズム・ライフケアサービス
	再保険引受事業会社(2社)	H&M INSURANCE HAWAII、GRIFFIN INSURANCE
	宇宙旅行事業	クラブツーリズム・スペースツアーズ

【持分法適用関連会社 2社】

国内	NTTデータ・テラノス
海外	KNT TRAVEL (THAILAND)



ホールディングス
本社ビル全景

平成29年(2017年)3月期第2四半期 業績およびセグメント別売上高

単位:百万円

単位:百万円

	当第2四半期 連結累計期間		個人旅行 事業	団体旅行 事業	その他	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
売上高	203,518	外部顧客 への 売上高	115,180	52,574	35,647	115	203,518
売上総利益	36,878	セグメント 間の内部 売上高又 は振替高	53	681	4,485	△ 5,219	—
営業利益	2,186	売上高計	115,233	53,256	40,133	△ 5,104	203,518
経常利益	2,213	セグメント 利益	961	773	266	184	2,186
特別利益	—						
特別損失	40						
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,184						

平成29年(2017年)3月期第2四半期 貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期 連結会計期間 (平成28年9月30日)	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	増減額
流動資産	122,951	106,675	16,275
うち現金及び 預金、預け金	73,149	65,437	7,712
固定資産	18,151	17,594	556
資産合計	141,102	124,270	16,832
流動負債	112,641	96,053	16,588
うち営業未払金・ 旅行券等	43,056	37,194	5,862
固定負債	4,423	4,431	△7
負債合計	117,065	100,484	16,581
純資産合計	24,036	23,785	250
うち利益剰余金	8,831	7,647	1,184
負債および 純資産合計	141,102	124,270	16,832

	当第2四半期 連結会計期間 (平成28年 9月30日)	前連結会計年度 (平成28年 3月31日)
自己資本 比率	17.0%	19.1%
一株当たり 純資産	88.28円	87.37円

平成29年(2017年)3月期第2四半期 キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	9,568
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,635
財務活動による キャッシュ・フロー	17
現金及び現金同等物 の四半期末残高	72,299

平成29年(2017年)3月期〔通期業績予想〕

	平成29年(2017年)3月期 〔通期予想〕
売 上 高	4,040億円
営 業 利 益	24億円
経 常 利 益	25億円
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	12億円
1 株 当 当 純 た り 当 期 純 利 益	4円42銭

営業シナジー

KNT-CTホールディングス株式会社

平成25年(2013年)1月1日、持株会社体制に移行して2年が経過し、その間「**近畿日本ツーリスト**」という強力なブランドと広範なネットワークを持つ強みと「**クラブツーリズム**」が持つ優れたマーケティング力や商品企画力を掛け合わせて「**統合シナジー**」を生み出すべく、両社商品の相互販売やチャーター便の共同販売などの取り組みを実施。

売上高 約17億円、売上総利益 約6億円の実績(2016.4-9月計)

■海外旅行における営業シナジー例

- KNT個人旅行「ホリデイ」の一部(クルーズ)の企画・仕入等をCTが実施。約8千万円の売上高
- CTチャーターの航空便(アラスカ7日間)座席一部をKNT個人旅行が「ホリデイ」ブランドで販売。約1億2千万円の売上高。

■国内旅行における営業シナジー例

- 「DINO-A-LIVE in ふくい勝山恐竜の森」第2弾企画により約2千8百万円の売上高。(約1,000名の集客と約9,000枚のチケット販売)
- 「青森ねぶた祭り」へのツアー販売、チケット販売等で、約9,000名の集客と約1億6千万円の売上高。 DINO-A-LIVE in ふくい勝山恐竜の森(イメージ)→



■提携販売、WEB販売でのシナジー例

- CT商品のKNTグループによる提携販売、KNTホームページからCTへの誘導後のCT商品購入、CTホームページからのKNT商品購入等で、約12,000名超の取扱いと約10億円の売上高。

注力事業：訪日旅行事業について

訪日旅行事業

①訪日FIT（海外個人旅行）事業の拡大

- ・訪日FITサイト「YOKOSO Japan Tour & Hotel」リニューアル（2016年7月）による販売の拡大
- ・海外ダイナミックパッケージ（海外DP）の販売（海外DP：航空券とホテルを組み合わせた旅行商品）
- ・海外OTA（Online Travel Agent）との連携強化

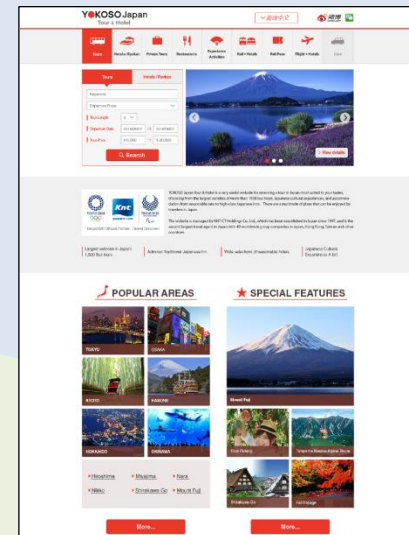
②訪日団体旅行事業の拡大

- ・海外エージェント及び法人営業の促進
- ・大型インセンティブツアーの取り込み



③訪日旅行関連事業の推進

- ・AI（人工知能）+チャットオペレータによる多言語チャットサービス事業の推進（訪日観光客向け「YOKOSOアプリ」（仮称）の開発）
- （観光事業者向け多言語チャットサービス事業の推進）



訪日FITサイト「YOKOSO Japan Tour & Hotel」



訪日観光客向け「YOKOSOアプリ」（仮称）画面イメージ

主要3事業会社 トピックス①

◆団体旅行事業：近畿日本ツーリスト株式会社

(基本方針)

- 2020年に向け、大きく変化する市場に対応できる体制の構築と創出利益の最大化を図る
- コア事業では「選択と集中」による盤石な経営基盤の確立、および成長事業への経営資源を投資する
- 業務効率の改善や働き方の多様性への対応により、働きやすい環境整備を行う

<スポーツ事業>

リオデジャネイロ大会の取扱い

2018年にむけた取り組み

2020年に向けた営業活動



<グローバル事業>

伊勢志摩サミット

海外エージェントとの提携強化

DMC Japan 営業開始



<地域誘客交流事業>

信州上田真田丸大河ドラマ館

スマートグラスツアー
(富岡製糸場・弘前城)

日本遺産プロジェクト



<未来戦略>

(新規事業の創出)

道の駅 元気プロジェクト

Run for 湯

AIを活用したチャットサービス



コア事業の維持・営業の効率化

「グループ・トラベル・コンサルタント」開設

デジタルマーケティング導入 (高付加価値サービスの提供)

主要3事業会社 トピックス②

◆個人旅行事業：近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

(基本方針)

- 「お客様の要望する」「独創性のある」「収益性の高い」商品の企画・手配・販売できる体制への構造改革・意識調査
- 安定的な利益創出により、社会に有用な企業であるとの社会的認識と信用の確立

2016年度事業活動

◇情報ライブラリー「Qティ」稼働 (Quick Travel Information)

- ・店頭販売における情報の優位性を向上
- ・おすすめモデルコース掲載(現在800コース)

◇TV電話予約システム「旅のコンシェルジュ」 設置店舗拡大、東名阪で63店舗

- ・来店予約とあわせ、顧客サービスを向上
- ・コンシェルジュのスキルをブラッシュアップ

◇Web事業

- ・国内IT系OTAとの業務提携開始
- ・国内ダイナミックパッケージシステム開発中



◇e宿泊事業

- ・契約施設数10,000軒突破(10,220軒11/1現在)
- ・地元採用のセールス担当「地域Webプランナー」を60名まで増員

◇首都圏旅のおすすめ企画センター設立

- ・担当者がおすすめする「感動」のある旅を企画

主要3事業会社 トピックス③

◆個人旅行事業：クラブツーリズム株式会社

【基本方針】

～シニアを笑顔で元気にする企業～

夢・笑顔・安心を提供し、お客様との接点を継続的に増やすことにより
絆を深め、お客様の人生をより豊かに彩る

●テーマ型旅行商品のシェア拡大

- ・ 旅行と認知症予防について、東北大学との共同研究を開始(7月)
- ・ 「始めよう！あるき旅&学び旅フェア」開催 (9月)
- ・ 「飛鳥Ⅱ 日本一周チャータークルーズ」実施 (10月)



東北大学との共同記者会見

●バリアフリー旅行の拡大

- ・ 「視覚障がい者 夢の自動車運転体験ツアー」が
第2回ジャパン・ツーリズム・アワード受賞 (9月)



「国内・訪日領域優秀賞」受賞

●新規事業の推進

- ・ “まごころ倶楽部” 小平店 オープン (9月)



飛鳥Ⅱ 日本一周チャータークルーズ

IRに関するお問い合わせ先

KNT-CT ホールディングス株式会社

〒101-8641
東京都千代田区東神田1-7-8
ユニゾ東神田一丁目ビル

総務広報部 広報IR担当

TEL:03-6891-6839 FAX:03-6891-6890

URL: <http://www.kntcthd.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記載しております経営目標は、様々な要因の変化により予想と乖離することもありますので、ご承知いただきますようお願いいたします。